

心ゆたかで 自ら学ぶ たくましい子の育成 ~ 元気に登校 笑顔で下校 ~

第4号 令和5年6月 | 2日 発行責任者 萩原 宏明 TEL 381-0215

たった一言 (ひとこと) が 人の心を あたためる

朝の旗振りの時、横断歩道の向こう側から「おはようございます!」の声。廊下を歩いていると向こうから「こんにちは」の声。教室の前を通ると中から誰かの「ありがとう」の声。「○○ちゃん、すごいねぇ」の声。学校はたくさんの人が多くの時間を過ごす場所です。常に言葉が飛び交っている場所です。

先日、朝礼で何枚かの絵を見せながら、こんな話をしました。「人によって感じ方が違う」「自分だけが正しいとはかぎらない」「相手の話をよく聞いてみることが大事」「チクチク言葉でなくホカホカ言葉を増やそう」。

授業や日常生活の中で、優しく豊かな心を養おうと努めています。年間 に2度の人権学習の重点期間を設けて、子どもたちだけでなく私たち大人 も言動や考え方を振り返れるようにしています。

是非、ご家庭でも「言葉」や「人権」についてお子さんと一緒に語り合う時間を設けていただければと思います。

その一言で励まされ その一言で夢を持ち その一言で腹が立ち その一言でがっかりし その一言で泣かされる ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力を持つ ほんのちょっとの一言で



子どものスマホやゲームの管理は大人の責任 ~子どもを守る~

先日、知り合いの教員からこんな話を聞きました。「自分のクラスの子がやっていたスマホの着せ替えアプリで強烈な誹謗中傷のやりとりがあった。投稿者は分からないが、かなりひどい内容だった。自分も聞いたことのないアプリで、調べてみたら恐ろしくなった」という話でした。

大人社会の SNS でもありますが、今は子どもの社会の中でもあるようです。スマホは確かに便利な物ですが、面と向かっての直接のやりとりではなく、実名を隠して見知らぬ人にでも言葉を送り合えてしまうところには、大きな危険性を感じます。特に判断力や想像力の十分でない小中学生にとっては、被害者のみでなく、加害者にもなり得ることが容易に想像できます。

そんな発達段階にある子どもに買い与えるのは大人であり、親です。私自身もそうでしたが、我が子がどんなアプリを使っているかは何となく承知していても、その中身までは把握できていないこともあるように思います。通信機能のあるゲームを含め、買い与えた以上は、その使い方を継続的に指導し、管理をするのは私たち大人・親の責任です。

子どもを守る意味からも、あらためて、よろしくお願いいたします。

* 表彰の紹介(敬称略) *

○ 第6回群馬県トランポリン競技選手権大会 個人競技Bクラス女子

第2位 5年 ○○ ○○

個人競技Bクラス男子

第5位 3年 ○○ ○○

シンクロナイズド競技 C クラス男子 第 3 位 3 年 ○○ ○○

安中市特別支援学級育成会 加入についてのお願い

市内小中学校の特別支援学級や通級教室に在籍する児童生徒への、一層の教育振興のための組織です。教材教具の充実や校外学習費用の一部などに充てさせていただくために、賛同いただける方に、一口200円の加入をお願いしています。近日中に通知をお配りします。多くの方のご協力をお願いします。